通信ともに
第71号
2019年5月10日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚

初春の青空、ミラーを照らす（仮題）

撮影したワークショップようてい利用者Ｃさんの話
これは余市郡のとある場所で撮影したものです。ミラーに青空と雲がうまく映り込むことができるように、撮影角度を工夫しました。みなさんに見ていただけて嬉しいです！

北海道中小企業家同友会に入会

良い会社、良い経営者、良い経営環境づくりを目指して
一般社団法人北海道中小企業家同友会

当法人は今年度、「一般社団法人　北海道中小企業家同友会　しりべし・小樽支部」に入会しました。中小企業家同友会とは中小企業の経営者さんが、勉強会を開いたり情報交換をしたりしてネットワークを築き上げる団体で、全国で約4万7千社、北海道でも約5,800社が加入しています。
今回入会したことで、他の企業・団体さんから経営のノウハウを学ぶことができるほか、障がい者の就労や自立に向けた情報交換ができる*1ものと期待しています。通信ともにでも参加した会の模様をお伝えしていく予定です。

北海道中小企業家同友会
しりべし・小樽支部

設立：１９７３年８月２４日
会員数：３４１社（2019年2月末現在）
事務局：小樽市色内
ウェブサイト
http://www.hokkaido.doyu.jp/

※同友会パンフレットより抜粋

だはしみ
まめちしき
*1同友会の部会のひとつに「障がい者いきいきフォーラム　しごとプラス」があり、盛んに勉強会活動をおこなっているそうです。

K.S.C.Juntos　道選抜チームに２人選ばれる

選抜メンバーに選ばれ気持ちを引き締める折野さん（写真右）と若松さん（同左）

K.S.C.Juntosメンバーの折野遥さんと若松哲広さんが北海道選抜チーム「リベルダージ北海道*4」のメンバーに選ばれました。リベルダージ北海道は精神障がい者スポーツの北海道選抜チームで、そのソーシャルフットボール部門の選手として選ばれました。
折野さんは3月にチーム練習に参加し「コーチから具体的な指示をボードなどで示してくれました。バリエーションが豊かでとても勉強になりました」と話しました。
一方若松さんは仕事の都合でまだ練習に参加できていませんが「全国大会に向けて、試合に出られるように仕事の合間で練習参加していきたい」と意気込みを語りました。
将来のスターティングメンバーを目指してがんばっている折野さんと若松さん。活躍が楽しみです。
またK.S.C. Juntosは５月に帯広市と名寄市の各チームとの合同試合を滝川市で予定しています。27日に難勝FCとの練習試合をおこない、チームの動きを確かめていました。６月のチャンピオンズカップに向けての大事な遠征になりそうです。

Liberdade HOKKAIDO
Futsal Team Since 2012

だはしみ
まめちしき
*4「リベルダージ」とはポルトガル語で「自由」を意味します。精神障がいを取り巻くあらゆる困難からの自由を目指す願いが込められています。

精神科医　土田正一郎の

その58　楽しい時がある

いつも楽しいともっと楽しさを求めてしまうし、その楽しい時が標準になってしまって、人生の楽しさが半減してしまうような気がする。
いつもつらいと消耗してしまうのでよくない。時々楽しい時があるというくらいがちょうどよい。それも自分の感じ方次第で楽しいと感じる技術を身に付けるともっと良い。楽しいという感覚を自ら作り出すということである。

ともに顧問（自称）

当法人の通常総会5月17日に開催　次号でお伝えします

各事業報告〜4月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい	契約／移行4人、B型20人 見学／5人、体験／1人
グループホーム よろこび	利用者数　19人 見学／０人、体験／1人
K.S.C.Juntos	当事者選手　10人 サポートスタッフ　15人

◆法人会員　正会員21人、賛助会員　団体6　個人80人
◆2019年度寄付金　のべ２人　32,000円
◆寄付物品　牛乳パック　食材（にんじんなど）

編集後記

精神科医の泉谷閑示（いずみやかんじ）さんの著書『あなたの人生が変わる対話術』を読了しました。「対話」は「会話」とは別で、考えや価値観の異なる人と話をしていき自分を変えるきっかけにできるそうです。楽ではないですが自分を磨き上げるためにも良い対話を積み重ねたいと思いました。（かわさき）

だはしみ
まめちしき

*2 就労移行支援でも利用回数に応じた訓練等給付費が支給されます。支給基準額は就職した利用者の数によって変動があります。

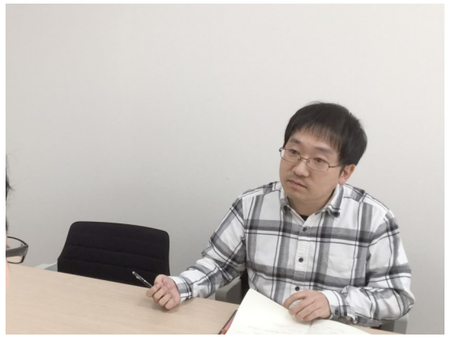
シリーズ就労移行支援①～こんな活動しています

移行支援のおもな活動

障がい者就労支援事業所ワークショップようていは、就労移行支援と就労継続支援Ｂ型の多機能型で運営しています。作業で工賃を得ることが目的の就労継続支援Ｂ型と異なり、就労移行支援の目的は作業訓練のほか、就労支援員を中心に就職への訓練や就職活動をサポートすることです。

障がいを持っている方は、その障がいの特性と過去の就業経験で就職活動をしたくても難しい方が少なくありません。私たちは本人の意向をくみとりながら、その人に合った仕事を一緒に探していきます。就職に不安がある方は面談を重ね、どこに不安を持っていて、どうしたら不安が軽減できるかを一緒になって考えていきます。

利用できるのは原則２年間と限られていますが、あせらずじっくりと、できるかぎり利用者に寄り添った支援を目指しています。



面談では利用者の希望に沿って「やりたい仕事」「やれそうな仕事」「苦手な仕事」を整理し、就職活動に活かしていきます。

就職の定着に向けて

無事就職が決まっても支援が終わるわけではありません。その仕事が長続きすることができるような支援をしていきます。

状況に応じて月１回程度の面談をし継続して支援していきます。また必要に応じて就職先への訪問を実施し、受け入れる側の不安や課題に対し助言をします。

昨年度から国はこの活動に対し「就労定着支援事業」を制定し、移行支援と切り離しました。事業化することで訓練等給付費（国からのお金）がもらえるのですが、さらなる体制の充実が必要なため、当法人では現在事業化していません。それでも就職した方やこれから就職活動をする方のニーズがあるため、ワークショップようていは定着支援を検討していきたいと考えています。

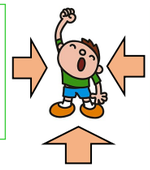
就労支援員のおもな活動

- 利用者への面談
  本人の仕事の意向、就職活動に対する思い、不安や課題などを整理していく
- 作業訓練をもとにした就労評価
- 就労支援トレーニングプログラム
  就労の方向付けや就労準備に必要な学習や「自分を知り、伝える力」を身につけていく
- 本人の希望に合わせて職場見学・職場実習の調整
- ハローワーク同行や必要に応じた就職面接の同行
- 履歴書の作成、就職面接練習、就労支援セミナーへの支援
- 企業開拓、企業訪問
- 就労後のサポート

チームを組んで段階的に支援

移行支援利用者へのチーム支援（一例）

ハローワーク
障がい者雇用の手続き、求人の紹介など



ワークショップようてい

障がい者就業・生活支援センター「ひろば」
当事業所と本人の就労や生活について支援していく

移行支援利用者の就職活動はさまざまな機関のスタッフと一緒になって活動しています。

自立が目的なので、利用者への支援段階を状況に応じて変えています。たとえば就職したばかりの時は積極的に関わり、本人が慣れてきたら次第に頻度を下げていくといったように、本人を含めたチームで一体的に支援内容を計画し、実行していくのです。

※次回は実際に就職した方へのインタビューを予定しています。

だはしみ
まめちしき

*3 ビニールハウスは晴天の日中で30℃以上になるときがあるので、ビニールを少し開けるなど室温管理が重要です。

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい　今年もビニールハウス設置

まずは骨組みを立てます。昨年の台風による強風で破損した箇所は支柱を買い替え、うまく接合させました。

天井と床面にもそれぞれ支柱を組みます。床面の支柱は今年から導入したもので、支柱の足で路面に穴が開くのを防いでいます。

できた骨組みにビニールを巻き、ドアをつけて完成。玉ねぎやトマト、にんじんなどの苗を育てています*3。

グループホームよろこび　岩内町まで買い物ツアー

4月20日、グループホーム入居者のうち、希望者５人と岩内町に出かけ、買い物ツアーをしてきました。

当日はとても良い天気で、みなさん笑顔がすばらしく、楽しくおしゃべりをしながら「しまむら」「ダイソー」で買い物を楽しみました。

岩内の飲食店で昼食をとったとき、オーダーミスで一人作ってもらえなかったハプニングがありましたが、みなさんとても楽しそうに過ごしていました。

帰りのマックスバリューでも少し買い物。「また行きたいね」と笑顔で話しています。　（なえむら）

※本人の希望により、画像を一部加工しています。

法人会員募集中　ぜひご協力を

会員の種別	会費（年額）
正会員	5,000円
賛助会員（個人）	3,000円
賛助会員（団体）	10,000円

※詳細および入会申込書のダウンロードは、
当法人のホームページ「会員・寄付募集」まで
http://npo-tomoni.com/donation.html

当法人では、趣旨に賛同し会員になっていただける方を随時募集しています。障がいの有無にかかわらず地域でより良く暮らしていけるために当法人はさらに活動を進めていきます。

当法人主催の支援者のための勉強会「たね塾」参加を契機に会員になられた方もいらっしゃいます。ぜひ会員になっていただき、法人活動へのご協力、ご支援をしていただければ助かります。